



清和中学校 2年
木野 隼 議員

【質問】▽山都町の議員について

「住み続けられるまちづくり」の観点から山都町議会議員の立候補者を増やす方法について提案します。
議員半減や反問権導入などの対策を取られてはどうでしょうか。半減することで議員一人当たりの報酬増加を行うことができます。反問権は回数に条件を設け、議員側が不利な立場にならないようにすることで質の高い議会を行うことができると考えます。

【答弁】議事事務局長

議員定数の半減については、慎重な対応が求められます。多様な民意を反映するためには、一定の議員数が不可欠です。住民の意思を十分に反映し、民主的な議論を進める上で、議員数を半減にすることが、どのような影響を与えるかを考える必要があります。
次に反問権については、質問と答弁がかみ合わないことを防ぎ、議論を活性化させる効果がある反面、使い方が次第では「行政監視機能」を損ないかねないという指摘もあります。
今のところ反問権導入の動きはありません。



清和中学校 2年
佐藤 晴 議員

【質問】▽野菜のネットを活用した販売について

「山の都のやおやさん」という通販販売がありますが、認知度が低いと思います。有機野菜を市内で販売したり、バザーに参加して、そこでPRすると農業関係者以外の方にも知っていただけると思います。また、自由に参加できる講話を実施するのはどうでしょうか。販売と講話を行うことで有機野菜の魅力を知らしめ、興味を持つ人が増えると考えます。

【答弁】農林振興課長

「山の都のやおやさん」は令和3年度にオープンしました。認知度向上の方策として、送料無料キャンペーンや半額キャンペーンを実施しながら、令和4年度にサイトのリニューアルやインスタグラムの開設等を実施し、認知度向上に取り組んできました。
また、熊本市のT S U T A Y A 3年坂店等での物産展の開催、全国特産品エキスポへの出展等とおして、サイトのPR実施しております。今後、サイトを継続運用するかも含め、効果検証するなかで議員の提案も参考とさせていただきます。



蘇陽中学校 2年
佐藤 楓晏 議員

【質問】▽「人・自然・伝統芸能などに魅了され訪れたくなるまちづくり」について

町が目標としている「人・自然・伝統芸能などに魅了され訪れたくなるまちをつくる」ためにどのような取り組みをされていますか。山都町がSDGsを取り入れた持続可能な観光地としてどのように発展しているか理解できると思い質問します。

【答弁】商工観光課長

山都町三大祭りの開催支援、九州山地神楽まつり開催や清和文楽の新作制作に対する支援を行っています。
昨年3月に後継者育成のため、NPO法人山都町大造り物保存会が設立されました。また、清和文楽の里協会では小・中・一般を対象とした文楽講座の開催、協会職員の技芸向上のため淡路研修を毎年行っています。蘇陽地区では神楽が保存継承されています。
町民一人ひとりが山都町の人・食・技に磨きをかけ、将来に継承することにより、持続可能な「山の都」の実現を目指しています。



蘇陽中学校 2年
橋本 大輝 議員

【質問】▽「山都町の魅力を語る子どもたちが育つまちづくり」について

町が目標としている「町の魅力を語る子どもたちが育つまちづくり」のために、町で計画されている取り組みがあれば教えてください。また、各校の生徒からアイデアを募り、自分たちで考え、計画した体験を行う機会があればと考えておりますがいかがでしょうか。

【答弁】学校教育課長

町の魅力を語るには、地域や町に興味を持ち、知って、好きになることが重要だと思います。自分たちでアイデアを出すことは、主体的な行動が興味等に繋がり、非常に良いと思われ、是非、提案してください。
また、メディアと少し距離を置き、地域や町の行事に参加するなど、色々な事に興味をもって挑戦してください。
教育委員会では、SDGs事業の一つとして体験学習等のお手伝いをしていきます。山都学の定着には、継続した取り組みが必要ですので、その調整に努めてまいります。



清和中学校 1年
渡邊 颯人 議員

【質問】▽空き家問題について

空き家活用について3つ提案します。
1つ目は一軒家の宿屋を作ることです。旅行客が家での過ごし方で滞在でき、リラックスできると考えます。2つ目は土地の売買ができるシステム作りです。土地を無駄なく使えると考えます。3つ目は借家にして検索できるようにすることです。内装やインターネット環境を整え、借家を検索できると移住希望者も増えると思います。

【答弁】山の都創造課長

町内に存在する空き家の有効活用を通して、移住定住の促進による地域活性化を図るために「空き家バンク制度」を実施しています。
現在、補助要件を満たしている方のみ利用できる改修補助金を準備しておりますが、今後は、町が住宅を整備、管理運営する「サブリース」の方法がとれないか検討中です。
ご提案いただいた、土地売買ができるシステムを作ること、現在の空き家バンク制度に「空き地バンク」を加え、運用することを今後検討していきたいと思えます。



清和中学校 1年
甲斐 将生 議員

【質問】▽地域活性化への町おこしについて

山都町活性化の観点から施設設置の提案をします。1つ目は自然の中でサウナ体験をしたり、山都町産の料理を食べることができ、サウナを中心とした入浴施設です。2つ目はボウリング場やゲームセンターのような遊べる施設です。建設費は多額になると思うが「行ってみたい、住んでみたい、働きたい」と思っている人が増えると考えます。

【答弁】企画政策課長

提案のあった遊技場を町が作るには色々な規制があり非常に難しいと考えます。サウナを中心とした入浴施設については、今後の参考にさせていただきます。人口減少に歯止めをかけるため、若者から注目されるものについては、高速道路も開通し、交通アクセスが良くなることから、観光客の増加に対応するような施設やイベントが必要になると考えます。
人口減少をいかにして食い止めることができるのか、町民の皆さまと意識を共有しながら進めていきたいと思えます。



蘇陽中学校 2年
佐藤 直央 議員

【質問】▽「自然エネルギーを活用したエコなまちづくり」について

町が目標としている「自然エネルギーを活用したエコなまちづくり」のために具体的などのような取り組みをされていますか。
詳細を聞き、山都町が持続可能なエネルギー利用に向けてどのような進捗を遂げているか知りたいです。

【答弁】環境水道課長

現在、太陽光発電・太陽熱温水器・生ごみ処理機・薪ストーブの設置に対する補助を行い、環境にやさしい町づくりを進めています。
また、役場本庁舎には太陽光発電パネルを設置したり、既存施設の照明をLEDに取り換えるなど省エネルギー化を進めてきました。
今後、今までの取り組みを継続し、公用車のEV化・木質バイオマスボイラー導入等のさらなる取り組みを検討しています。これらが進めば地球温暖化の対策にも繋がると思っていますので、地道な啓発活動に努めてまいります。



蘇陽中学校 2年
片倉 萌衣 議員

【質問】▽町直営の移動販売について

蘇陽地区のスーパー閉店に伴う、買い物やトレー・牛乳パックの回収場所に関する問題が生じているため解決案を提案します。買い物については、移動販売や事業者を募り、身近に買い物できる環境をつくるのはどうでしょうか。トレー等の回収場所については、地域内に回収ステーションを設置してはどうでしょうか。ごみの再利用ができSDGsに繋がります。

【答弁】福祉課長

移動販売については、今年度から移動販売に取り組む事業者に対し、車の購入費や運営費を補助する事業を始めました。現在1つの事業者と準備を進めており、単なる移動販売ではなく、地域の見守り活動も行っていたと考えています。
牛乳パックは町でも資源ごみとして収集しており、資源ごみ収集日に出してください。白色トレーは役場本庁、清和・蘇陽支所に回収ボックスを設置しております。また、早ければ令和6年度中に分別収集を始めますので、町民の皆さまのご協力をお願いします。